



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.5.12 No. 4595

第一波・第二波スト28名の解雇撤回は 11年に及ぶ組合員の闘いの勝利

第24回臨時大会・争議団の決意表明から

今号では、四月二十七日に開催された第二四回臨時大会での争議団決意表明から、山下 幸さん(津田沼)、内山 等さん(千葉転)の発言を掲載します。二八名全員の解雇撤回をかちとった大きな勝利を改めて確認するとともに、清算事業団闘争勝利(一二名(全国一〇四七名)の原職復帰、JR総連解体・組織拡大へ決意も新たに前進しよう。

組合員の団結と頑張り で解雇撤回をかちとる

山下 幸 (津田沼支部)



分割・民営化反対を掲げて闘いぬいた第一波ストから十一年余りが経ちました。この闘いが始まるときに私は

「去るも地獄、残るも地獄」と言われていた中で自分だけが残ればいいのかということを考えて末に、クビになっても他の仲間たちを残そうという決意を固めて闘いに決起しました。確かにこの一〇年間の闘いは私たちも苦労してきましたが、職場の中で頑張ってきた組合員の皆さんのほうが私たちよりもっと大変だったと思います。しかし、組合員の皆さんのこの頑張り、と団結により今回の解雇撤回という大変な勝利がかちとられました。

JRの職場の中で自分たちの働きやすい職場をつくるための闘いはまだまだ続くと思いますが、今後も動労千葉の旗を守り、動労千葉とともに闘う仲間たちを全国的につくっていく闘いを皆さんと一緒にやっていきたいと思えます。最後まで頑張りますので宜しくお願いします。

事業団、格差、結託 体制など問題は山積

内山 等 (千葉転支部)



この一〇年間の出来事が、今頭の中で走馬灯のごとく思い出されます。解雇になってから組合の専従業務を行

い、ながら、その間にも物販で全国を回りあちこちの人たちと色々な話をしたことや、ストライキのときには銚子によく行きましたが、銚子も三組合があつて非常に厳しい中で組合員が団結して闘ってくれたことなど様々思い出されました。

情勢的には、臨時大会の中で提起されていますが、われわれ以上に非常に厳しい状況になっていると思えます。先の国会での沖縄軍用地特別措置法の決め方ひとつにおいても、日本の労働者や市民をないがしろにして嘲笑うような決め方でした。しかし、今回二八名の解雇撤回という勝利がかちとられたということで、ひとつのケジメがついたわけですが、清算事業団解雇された仲間の問題、貨物会社の格差問題、JRとJR総連革マルの結託体制など問題は山積しています。これらの闘いに勝ちぬくために、動労千葉の組合員としてさらに頑張っていきたいと思えますので宜しくお願いします。



米軍用地を取戻すぞ 5・15東京集会へ

橋本内閣は、日米安保体制を「国益」と公言し、四月十七日の沖縄軍用地特措法の改悪を翼賛国会のもとで強行するとともに、今秋にはガイドライン(日米防衛協力指針)の改訂を行なおうとしている。このガイドラインの改訂とは、「後方支援」と称しながら自衛隊が米軍とともに自由に全世界に侵略のために出撃できるようにするものだ。翼賛国会への怒りを爆発させ、米軍基地撤去・ガイドライン改訂阻止へ沖縄現地闘争と連帯して五・一五集会に結集を!

沖繩は生きぬくぞ!
五・一五東京集会
とき 五月一日(木)
一八時三〇分から
ところ 東京・検町公園
指定列車 千葉駅八番線
一六時五四分